

ウスマンブンアッファーン (1/2) : 大かつ敬虔な男

:

明: 言者ムハンマドの3代目の者が、どのようにしてイスラムへ改宗したか。

目: [事言者ムハンマド彼の教友たちの物](#)

より: アイシャステイシ

日 1 Mar 2013

集日 16 Jun 2013



ウスマンブンアッファーンは、言者ムハンマドから3代目にあたる者でした。彼は信仰者のとして知られ、12年に渡る治をしました。彼のカリフにおける最初の6年は比較的平和な代でしたが、最後の6年は内部抗争や反乱者による破壊工作による害を被りました。ウスマンはその敬虔さ、大さ、切さによって知られていますが、慎ましさと羞心によっても知られ、前の良さでも称されています。彼は神への、そして言者ムハンマドとその共同体への情に基づいた、偏向のない公正さと、やかで人道的な政治によって治しまし

た。

ウスマン（彼に神のご悦あれ）は言者ムハンマド（神の慈悲とあれ）の生から7年に生まれ、クライシュ族の氏族であるウマイヤ家に属していました。ウマイヤ家はその力と富により、クライシュ族の中でも最も影力ある氏族で、ウスマンはその良き品行と羞心から、彼らに最もされていた「ゴールデンボーイ」でした。彼の先代であるウマルブンアル＝ハッタブのように、ウスマンはみきができましたが、これはイスラム以前のアラビア半においては稀な能力で、彼は物商として成功をめました。彼は生涯を通して切かつ大な人物であるとみなされ、イスラム改宗前でさえ、たびたび困者に喜を施していました。

ウスマンにイスラムを介したのは、彼のしい友であったアブバクルで、彼は34のときに改宗をしました。その当はイスラム勃直で、マッカ住民によって的に虐待や拷が改宗者にして行われていたときでした。こうした虐待を彼自身も受けたにもわらず、ウスマンはイスラムを教せず、言者ムハンマドの娘であるルカイヤとの婚を果たし、言者とのを化させました。

虐待と拷はそのもき、ウスマンの裕福な家族、また商人としての社会的地位でさえも彼を守り切れなくなっていました。彼は自らの家族からも虐待拷されるまでになりました。彼の叔父は彼の手足をでつなぎ、暗い密室にじめたのです。彼の近による酷い待遇は、ウスマンと彼の妻にアビシニアへの移住を意させます。言者ムハンマドは彼の忍耐い性格を称してこう言っています。「ロト以降では、ウスマンが神のために自宅の快さをてた最初の人物なのだ。」数ヵ月には、苦するムスリムたち、そして敬する父である言者の元にウスマンとルカイヤはってきました。

ウスマンは言者ムハンマドとの非常に近いをき、イスラムの密な知を得ました。彼は、146もの承を言者から直接え、クルアンをき留めることも出来た数少ない人物の一人でした。またウスマンは、崇礼を学ぼうとする者たちにとっての参照先ともなりました。彼は洗礼（ウドゥ）、礼やその他の行を理解し、他者に教えることが出来たのです。また、彼はマディナへの移住に参加し、ムスリム国家の立において、密接に言者ムハンマドの手助けをしました。言者ムハンマドは彼のことを佐であると言及してい

ます。

マディナにおいて、水の供給源は不足しており、井の利は少数の人々によって管理されてきました。彼は熟練した商人であり、交際にかけていたため、ムスリムたちを代表して井を入しようとしました。彼はまず、井の半分の段を交しました。それはつまり、元の所有者と交代で一日おきに井の水を使用する利でした。しかしウスマンはムスリムたちに無料で水を提供したことから、有料で水を汲ませていた元の所有者から入る者はいなくなっていました。したがってその井の所有者はウスマンに残りの半分の利も譲り渡す他なくなりましたが、それにも関わらずウスマンは正な格で取ったのです。ウスマンはそのも皆に無料で水を汲み取らせ、そのことをひけらかしたり、示したりすることもありませんでした。彼は虚で慎み深い人物だったのです。

ウスマンは神とその使徒ムハンマドを喜ばせるため、彼のからも惜しげなく施しました。によると、彼は金曜日、それらを自由にするため奴を取っていましたが、そののため、彼は裕福であったにも関わらず、自分自身の召使いがいなくてもしばしばありました。言者ムハンマドとムスリムがビザンチン帝国との争のためタブクに征した、彼は裕福な者たちに呼びかけて、の装と援助のために出るよう富と金を募りました。ウスマンは200の鞍付きのラクダ、そして200オンスの金、そして1000ディナールを提供しました。言者ムハンマドは、他者がウスマンに触されて施すようにしきりに寄付を募っていました。しかしながら、ウスマンはよりも山寄付をし、最終的には900の装されたラクダを提供したのです¹。

私たちが思い浮かべることの出来るウスマン像は、大で取ることのない、切な男といったものです。彼はその虚さ、慎ましさ、敬虔さで知られていました。ウスマンはたびたび、夜を礼によってごし、繁に行った断食も、ときには隔日で行っていた程です。彼はその裕福さにも関わらず素に暮らし、モスクの中で砂にまみれて眠ることもありました。ウスマンは6人からなる会によって、言者ムハンマドの3代目の者として選ばれました。彼は言者ムハンマド、アブバクル、ウマルのであった人道的公正な治を受けました。彼はムスリムのであるカリフとして、その土をモロッコ、アフガニスタン、そしてアゼルバイジャンにまで大しました。6年に渡り、彼の治は平和なものでした

が、そこには不 なる空 が忍び寄ったのです。

彼の前任者たち同 じ、ウスマ ン ブン アッファ ンは人々に尽くした人物でした。彼は羞 辱に ちていましたが、その 治は 期において、内部抗争と反逆によって甚大な 害を被りま した。神はウスマ ンを3代目の指 導者としてお びになりましたが、反抗 力は彼をその地位 から引きずり降ろそうとしたのです。言者ムハンマドは、ウスマ ンが非常に困 窮な状 況に なることを予言していました。「ウスマ ンよ、神はおそらくあなたに衣服をお着せになるだろうが、もし人々 があなたからそれを剥ぎ取ろうとしても、彼らのためにそれを渡してはならない。」 ウスマ ンはその「衣服」を明け渡したりはしませんでした。彼による神とその使徒へ の 情は、老 衰、そして めて困 窮な状 況においても、い 心と 虚の念を持たせたのです。

Footnotes:

1

The Sealed Nectar. Safi Ur Rahman Al Mubarakpuri.

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/2180>

著作 2006-2015 断 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 断 を禁じます。